

REGULATIONS



Hotel Okura
KYOTO

宿泊約款

宿泊客が宿泊するホテル

（適用範囲）

- 第1条　当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令等（法令又は法令に基づくものをいう。以下同じ。）又は一般に確立された慣習によるものとします。
- 当ホテルが、法令等及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

（宿泊契約の申し込み）

- 第2条　当ホテルに宿泊契約の申し込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。
 - 宿泊者名
 - 宿泊日及び到着予定時刻
 - 宿泊料金（原則として別表第1の基本宿泊料による。）
 - その他当ホテルが必要と認める事項
- 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。

宿泊客が宿泊するホテル

（宿泊契約の成立等）

- 第3条　宿泊契約は、当ホテルが前条の申し込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。
- 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間（3日を超えるときは3日間）の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
- 申込金は、まず宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。
- 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期間を指定するにあたり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

（申込金の支払いを要しないこととする特約）

- 第4条　前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
- 宿泊契約の申し込みを承諾するにあたり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項

宿泊客が宿泊するホテル

の特約に応じたものとして取り扱います。

（施設における感染防止対策への協力の求め）

第4条の2　当ホテルは、宿泊しようとする者に対し、旅館業法（昭和23年法律第138号）第4条の2第1項の規定による協力を求めることができます。

（宿泊契約締結の拒否）

第5条　当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。ただし、本項は、当ホテルが、旅館業法 第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。

- 宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。
- 満室により客室の余裕がないとき。
- 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、官公署等の要請、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
- 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき。

イ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）、同条第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力

ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき

ハ 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの

- 宿泊しようとする者が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- 宿泊しようとする者が、旅館業法第4条の2第1項第2号に規定する特定感染症の患者等（以下「特定感染症の患者等」という。）であるとき。
- 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき（宿泊しようとする者が障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号。以下「障害者差別解消法」という。）第7条第2項又は第8条第2項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。）。
- 宿泊しようとする者がカスタマーハラスメント行為（別表第2）をするおそれがあると認められるとき。またはかつて同様な行為を行ったと認められるとき。
- 宿泊しようとする者がとばく、その他の違法行為又は風紀を乱す行為をするおそれがあると認められるとき。

宿泊客が宿泊するホテル

- 宿泊しようとする者が泥酔、その他の利用客に迷惑を及ぼすおそれがあるとき。
- 宿泊しようとする者が明らかに支払能力がないと認められるとき。
- 宿泊しようとする者が挙動不審と認められるとき。
- 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
- 宿泊しようとする者が、自己の商業目的を秘して申し込みをしたとき。
- その他都道府県条例の規定する場合に該当するとき。

（宿泊契約締結の拒否の説明）

第5条の2　宿泊しようとする者は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約の締結に応じない場合、その理由の説明を求めることができます。

（宿泊客の契約解除権）

第6条　宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。

- 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。）は、別表第3に記載するところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるにあたって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
- 当ホテルは、宿泊客が連絡しないで宿泊日当日の20：00（あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

（当ホテルの契約解除権）

第7条　当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。ただし、本項は、当ホテルが、旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。

- 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、官公署等の要請、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
- 宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき。
 - 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団

宿泊客が宿泊するホテル

- 関係者その他の反社会的勢力
 - 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
- 宿泊客が他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- 宿泊客が特定感染症の患者等であるとき。
- 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき（宿泊客が障害者差別解消法第7条第2項又は第8条第2項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。）。
- 宿泊施設もしくは宿泊施設職員（従業員）に対し、カスタマーハラスメント行為（別表第2）をするおそれがあると認められるとき。またはかつて同様な行為を行ったと認められるとき。
- とばく、その他の違法行為又は風紀を乱す行為をしたとき。
- 泥酔又は放歌、けん騒、歌舞、音曲等他の利用客に迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- 支払能力がないと認められたとき。
- 不審な挙動をしたとき。
- 客室での喫煙、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項（火災予防上必要なものに限る。）に従わないとき。
- 天災、施設の故障等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
- 都道府県条例の規定する場合に該当するとき。

2.当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

宿泊客が宿泊するホテル

（宿泊契約解除の説明）

第7条の2　宿泊客は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約を解除した場合、その理由の説明を求めることができます。

宿泊客が宿泊するホテル

（宿泊の登録）

第8条　宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

- 宿泊客の氏名、住所及び連絡先
- 日本国内に住所を有しない外国人にあつては、国籍及び旅券番号
- その他当ホテルが必要と認める事項

- 宿泊客が第12条の料金の支払いを、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

（客室の使用時間）

- 第9条 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、15：00から翌日11：00までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。
- 2.当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に記載する追加料金を申し受けます。

- （1）16：00まで 室料の30%
- （2）19：00まで 室料の50%
- （3）19：00以降 1泊分の室料

（利用規則の遵守）

- 第10条 宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した規則に従っていただきます。

（営業時間）

- 第11条 当ホテルの主な施設、その他の施設等の詳しい営業時間は備え付けのパンフレット、各所の掲示等で御案内いたします。
- 2.前項の時間は、必要やむを得ない場合には随時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

（料金の支払い）

- 第12条 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳及びその算定方法は、別表第1に記載するところによります。
- 2.前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当ホテルが請求したとき、フロントにおいて行っていただけます。
- 3.当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になった後、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

（当ホテルの責任）

- 第13条 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行にあたり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。
- 2.当ホテルは、消防機関から防火対象物適合表示制度に基づく表示マークの交付を受け、「適マーク」を掲出して防火管理に努めておりますが、万一の火災等に対処するため、旅館責任賠償保険に加入しております。

（契約した客室の提供ができないときの取扱い）

- 第14条 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一

- の条件による宿泊施設をあっ旋するものとします。
- 2.当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

（寄託物等の取扱い）

- 第15条 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価額の明告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当ホテルは15万円を限度としてその損害を賠償します。
- 2.宿泊客が、当ホテル内にお持込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の明告のなかったものについては、当ホテルに故意又は重大な過失がある場合を除き、15万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

（宿泊客の手荷物又は携帯品の保管）

- 第16条 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。
- 2.宿泊客がチェックアウトした後、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは、当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含め7日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。
- 3.前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は第1項の場合にあっては前条第1項の規定に、前項の場合にあっては同条第2項の規定に準じるものとします。

（駐車場の責任）

- 第17条 宿泊客が当ホテルの駐車場を御利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理にあたり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

（宿泊客の責任）

- 第18条 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

（免責事項）

- 第19条 当ホテル内からの通信サービスの御利用にあたりましては、お客様ご自身の責任にて行うものとします。通信サービスのご利用中にシステム障害その他の理由により通信サービスが中断し、その結果利用者がいかなる損害を受けた場合においても、当ホテルは一切の責任を負いません。また、通信サービスの御利用により、当ホテルおよび第三者に損害が生じた場合、その損害を賠償していただきます。

（支配する言語）

- 第20条 この約款は日本語と英語で作成されますが、その文の間に不一致または相違があるときは、すべて日本文によるものとします。

別表第1 宿泊料金等の内訳（第2条 第1項及び第12条 第1項 関係）

		内 訳
宿泊客が支払うべき総額	宿泊料金	① 基本宿泊料〔室料（又は室料+朝食料）〕 ② サービス料〔① × 15%〕
	追加料金	③ 飲食料〔又は追加飲食（朝食以外の飲食料）〕及びその他の利用料金 ④ サービス料〔③ × 15%〕
	税金	消費税・宿泊税

（注）税法が改正された場合は、その改正された規定によるものとします。

別表第2 カスタマーハラスメント行為（第5条 第8項 及び 第7条 第6項 関係）

宿泊料の減額その他のその内容の実現が容易でない事項の要求（宿泊に関して障害者差別解消法 第2条 第2号に規定する社会的障壁の除去を求める場合を除きます。）又は粗野又は乱暴な言動その他の従業者の心身に負担を与える言動（営業者が宿泊しようとする者に対して障害者差別解消法第8条第1項の不当な差別的取扱いを行ったことに起因するものその他これに準ずる合理的な理由があるものを除きます。）を交えた要求であって、当該要求をした者の接遇に通常必要とされる以上の労力を要することとなる行為（以下に例示します。）を繰り返した場合に、当該行為をカスタマーハラスメント行為とします。

- 身体的な攻撃（暴行、傷害など）、精神的な攻撃（脅迫、暴言、中傷など）にあたる行為
- 土下座の要求等、過度な要求行為
- 居座り、監禁等一定時間を超える拘束的行為（長時間の電話を含みます。）

- 大声、暴言などで従業員を責める行為
- 正当な理由のないキャンセル料の未払い、代金の返金要求、商品交換や金銭補償等の過剰要求行為（他の宿泊者と比較して、合理的な範囲を超えた過剰なサービスを要求し、宿泊料に不当な割引を要求する行為を繰り返す行為等の不当な要求を行う行為がこれに含まれます。）
- 同じ質問の繰り返し、社会的相当性を欠く方法による謝罪の要求やクレーム等の責任追及行為
- 運用ルールや制度上対応できないことへの過剰要求やクレーム行為
- S N Sやマスコミへの暴露（従業員の氏名公開など）をほのめかした脅迫行為
- 特定の従業員へのつきまとい行為
- その他上記の各行為に準じる行為

別表第3 違約金（第6条 第2項 関係）

		契約解除の通知をうけた日				
契約申込人数	一般	不泊	当日	前日	9日前	20日前
	14名まで	100%	80%	20%		
団体	15～99名まで	100%	80%	20%	10%	
	100名以上	100%	100%	80%	20%	10%

（注）

- %は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。
- 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1日分（初日）の違約金を収受します。
- 団体客（15名以上）の一部について契約の解除があった場合、宿泊の10日前（その日より後に申込みをお引き受けした場合にはそのお引き受けした日）における宿泊人数の10%（端数が出た場合には切り上げる）にあたる人数については、違約金はいただきません。
- 双方の合意の下で、違約金の設定について別途合意した場合は、本約款6条に記載の違約金が適用されず、別途合意した違約金が優先的に適用されます。

Terms and Conditions for Accommodation Contracts

(Scope of Application)

Article 1. Contracts for Accommodation and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions. Any particulars not provided herein shall be governed by laws and regulations (“laws and regulations”, or those based on laws and regulations. The same shall apply hereinafter) and/or generally accepted practices.

2. In the case when the Hotel has entered into a special contract with the Guest insofar as such special contract does not violate laws and regulations and generally accepted practices, the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions, notwithstanding the preceding Paragraph.

(Application for Accommodation Contract)

Article 2. A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars:

- (1) Name of the Guest(s).
 - (2) Date of accommodation and estimated time of arrival.
 - (3) Accommodation Charges (based in principle on the Basic Accommodation Charges listed in the Attached Table No. 1).
 - (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
2. If the Guests request to extend their stay, during their stay, beyond the date in subparagraph (2) of the preceding Paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

(Conclusion of Accommodation Contracts, etc.)

Article 3. A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply where it has been proved that the Hotel has not accepted the application.

2. When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit set by the Hotel within the limits of Basic Accommodation Charges covering the Guest’s entire period of stay (3 days when the period of stay exceeds 3 days) by the date specified by the Hotel.
3. The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charges to be paid by the Guest, secondly for cancellation charges under Article 6 and thirdly for reparations under Article 18 as applicable. The remainder, if any, shall be refunded at the time of payment for accommodation as stated in Article 12.
4. If the Guest fails to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2, the Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid. However, the same shall apply only in the case where the Guest is thus informed by the Hotel when the period of Payment of the deposit is specified.

(Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit)

Article 4. Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding article, the Hotel may enter into a special contract requiring no accommodation deposit after the Contract has been concluded as stipulated in the same Paragraph.

2. In the case when the Hotel has not requested payment of the deposit as stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article

and/or has not specified the date of payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be treated as though the Hotel has accepted a special contract prescribed in the preceding Paragraph.

(Request for cooperation in infection control measures at facilities)

Article 4-2. The Hotel may request cooperation from the person who intends to stay at the Hotel in accordance with the provisions of Article 4-2, Paragraph 1 of the Hotel Business Act (Act No. 138 of 1948).

(Refusal of Accommodation Contracts)

Article 5. The Hotel may not accept the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following circumstances. However, this paragraph does not mean that the Hotel may refuse accommodation in cases other than those listed in Article 5 of the Hotel Business Act.

- (1) When the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms and Conditions.
- (2) When the Hotel is fully booked and there is no vacancy.
- (3) When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself/herself in a manner that will violate laws or act against the public order, requests from public offices, or good morals in regard to his/her accommodation.
- (4) When the person who intends to stay at this hotel is deemed to fall under any of the following items (a) through (c).
 - (a) Organized Crime Groups as defined in Article 2, Item 2 of the Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Groups (Act No. 77 of 1991) (hereinafter referred to as “Organized Crime Groups”), members of organized crime groups as defined in Article 2, Item 6 of the same article (hereinafter referred to as “Members of Organized Crime Groups”), associate members of organized crime groups or persons related to organized crime groups, or other antisocial groups.
 - (b) When the person is a organized crime group or a corporation or other organization whose business activities are controlled by a organized crime group or a member of an organized crime group.
 - (c) A person who is a juridical person and one of its officers falls under the category of an organized crime group member.
- (5) When the person is behaving in such a manner as to be an annoyance to other guests.
- (6) When a person who intends to stay at this hotel is a patient, etc. of a specified infectious disease as defined in Article 4-2, paragraph 1, item 2 of the Hotel Business Act (hereinafter referred to as “patient, etc. of specified infectious disease”).
- (7) When a violent act of demand is committed or a burden exceeding a reasonable range is demanded with regard to accommodation (Excluding cases where the person seeking accommodation requests the removal of social barriers pursuant to the provisions of Article 7, Paragraph 2 or Article 8, Paragraph 2 of the Act (Act No. 65 of 2013. Hereinafter referred to as the “Act on Elimination of Discrimination against Persons with Disabilities”) on Promotion of Elimination of Discrimination on the Basis of Disability.).
- (8) When it is recognized that the Guest seeking

accommodation is likely to commit, to accommodation facilities or accommodation facilities staff (employees), an act of customer harassment (Attached Table No.2), or has proven to have made a similar conduct in the past.

- (9) When the Hotel has sufficient reason to suspect that the person requesting accommodation may use said accommodation for gambling or other illegal purpose, or otherwise to violate public morals.
- (10) When the person requesting accommodation is extremely intoxicated or is otherwise likely to disturb other guests.
- (11) When the person requesting accommodation is clearly recognized to be unable to pay for the accommodation.
- (12) When the person requesting accommodation is behaving suspiciously.
- (13) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, malfunction of facilities and/or other unavoidable causes.
- (14) When the Guest seeking accommodation fails to disclose his/her intent for commercial profit at the time of application.
- (15) When the case falls under the provisions of Prefectural Ordinance Article.

(Explanation of refusal to conclude a contract of accommodation)

Article 5-2. The person who intends to stay may request the Hotel to explain the reasons for its refusal to enter into a contract of accommodation in accordance with the preceding article.

(Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest)

- Article 6. The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by notifying the Hotel.
2. If the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except in the case when the Hotel has requested payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled before payment), the Guest shall pay cancellation charges as listed in the Attached Table No. 3. However, in the case when a special contract as prescribed in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, the same shall apply only when the Guest is informed of the obligation of payment of cancellation charges in case of cancellation by the Guest.
 3. In case when the Guest does not appear by 8 p.m. of the accommodation date (2 hours after the expected time of arrival if the Hotel is notified of it) without an advance notice, the Hotel may regard the Accommodation Contract as being cancelled by the Guest.

(Right to Cancel Accommodation Contract by the Hotel)

Article 7. The Hotel may cancel the Accommodation Contract under any of the following circumstances. However, this paragraph does not mean that this hotel may refuse accommodation in cases other than those listed in Article 5 of the Hotel Business Act.

- (1) When the Guest is deemed liable for conduct and/or has conducted himself/herself in a manner that will violate laws, requests from public offices or act against the public order and good morals in regard to his/her accommodation.
- (2) When it is recognized that the Guest falls under any of the following items (a) through (c).
 - (a) When the Guest is a crime group, a member of a crime

group, a quasi-constituent of a crime group, or a person related to a crime group, or any other antisocial group.

- (b) When the Guest is a juridical person or other organization whose business activities are controlled by a crime group or a member of a crime group.
 - (c) When the Guest seeking accommodation is a corporation which any of directors are proven to be a member of an organized crime group.
- (3) When the Guest is behaving in such a manner as to be an annoyance to other guests.
 - (4) When the Guest is a patient, etc. of specified infectious disease.
 - (5) When the Guest who intends to stay at the accommodation commits a violent demand act or asks for a burden exceeding a reasonable range with regard to the accommodation (except when the Guest requests the removal of social barriers as provided in Article 7, paragraph 2 or Article 8, paragraph 2 of the Act on Elimination of Discrimination against Persons with Disabilities).
 - (6) When it is recognized that the Guest seeking accommodation is likely to commit, to accommodation facilities or accommodation facilities staff (employees), an act of customer harassment (Attached Table No.2), or has proven to have made a similar conduct in the past.
 - (7) When the Guest has used the accommodation for gambling or other illegal purpose, or otherwise to violate public morals.
 - (8) When the Guest is extremely intoxicated, dancing or singing loudly, playing loud music or otherwise disturbing other guests.
 - (9) When the Guest is recognized to be unable to pay.
 - (10) When the Guest is behaving suspiciously.
 - (11) When the Guest does not observe prohibited actions such as smoking in guest room, tampers with fire-fighting facilities and otherwise breaches Hotel Regulations stipulated by the Hotel (restricted to particulars deemed necessary in order to avoid causing fires).
 - (12) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities and/or other causes of force majeure.
 - (13) When the case falls under the provisions of Prefectural Ordinance Article.
2. If the Hotel has canceled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Paragraph, the Hotel shall not charge the Guest for any of the services during the contractual period he/she has not received.

(Explanation of Cancellation of Accommodation Contract)

Article 7-2. In the event that the Hotel cancels the Accommodation Contract in accordance with the preceding article, the Guest may request an explanation of the reasons for such cancellation.

(Registration)

Article 8. The Guest shall register the following particulars at the front desk of the Hotel on the day of accommodation :

- (1) Name, address, and contact information of the Guest (s).
 - (2) Nationality and passport number for foreigners who do not have a domicile in Japan.
 - (3) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
2. In the case when the Guest intends to make payment of the charges in accordance with Article 12 by any means other than Japanese currency, such as coupons, credit cards, etc., these credentials shall be shown in advance at the time of registration in accordance with the preceding paragraph.

(Occupancy Hours of Guest Rooms)

Article 9. The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Hotel from 3 p.m. on the day of arrival to 11 a.m. on the day of departure. However, in the case when the Guest is accommodated continuously, the Guest may occupy the guest room all day, except for the days of arrival and departure.

2. The Hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the guest room beyond the time prescribed in the same Paragraph, in this case, extra charges shall apply as follows :
- (1) Up to 4 p.m. : 30% of the room charge
 - (2) Up to 7 p.m. : 50% of the room charge
 - (3) After 7 p.m. : room charge in full

(Observance of Hotel Regulations)

Article 10. The Guest shall observe the Hotel Regulations established by the Hotel, which are posted within the premises of the Hotel.

(Business Hours)

Article 11. The business hours of the main facilities, etc. of the Hotel and those of other facilities, etc. shall be notified in detail by brochures as provided, notices displayed in each place and others.

2. The business hours specified in the preceding Paragraph are subject to temporary changes due to unavoidable circumstances of the Hotel. In such cases, the Guest shall be informed by appropriate means.

(Payment of Accommodation Charges)

Article 12. The breakdown and method of calculation of the Accommodation Charges, etc. that the Guest shall pay is as listed in the attached Table No.1.

2. Accommodation Charges, etc. as stated in the preceding Paragraph shall be paid with Japanese currency or by any means other than Japanese currency such as coupons or credit cards recognized by the Hotel at the front desk at the time of departure of the Guest or upon request by the Hotel.
3. Accommodation Charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities provided for him/her by the Hotel.

(Liabilities of the Hotel)

Article 13. The Hotel shall compensate the Guest for damage if the Hotel has caused such damage to the Guest in the fulfillment or the nonfulfillment of the Accommodation Contract and/or related agreements. However, the same shall not apply in cases where such damage has been caused due to reasons for which the Hotel is not liable.

2. The Hotel has received “Fire Safety Certification Marks”, under a system of regular inspections and reports regarding facilities to which fire prevention regulations apply. The Hotel displays “Fire Safety Certification Marks” and makes every effort to conduct effective fire prevention management. However, the Hotel is covered by Hotel Liability Insurance in order to deal with unexpected fire and/or other disasters.

(Handling when Unable to Provide Contracted Rooms)

Article 14. The Hotel shall, when unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as practicable with the consent of the Guest.

2. When arrangement of other accommodation cannot be made, notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the Hotel shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges and the compensation fee shall be applied to reparations. However, when the Hotel cannot provide accommodation due to causes for which the Hotel is not liable, the Hotel will not compensate the Guest.

(Handling of Deposited Articles)

Article 15. The Hotel shall compensate for the Guest for damages when loss, breakage, or other damage occurs to goods, cash, or valuables deposited at the front desk by the Guest, except in the case when such damage is caused by force majeure. However, for cash and valuables, when the Hotel has requested the Guest for an appraisal of the value and the Guest has failed to do so, the Hotel shall compensate the Guest up to a maximum of 150,000 yen.

2. The Hotel shall compensate the Guest for damages when loss, breakage or other damage is caused, through intent or negligence on the part of the Hotel, to the goods, cash or valuables brought onto the premises of the Hotel by the Guest but are not deposited at the front desk. However, in the event that the type and value of the Guest’s property or cash and valuables have not been disclosed in advance, the Hotel shall compensate for damages up to 150,000 yen, except in the case of intent or gross negligence on the part of the Hotel.

(Custody of Baggage and/or Belongings of Guest)

Article 16. When the baggage of the Guest is brought into the Hotel before his/her arrival, the Hotel shall be liable to keep it only in the case when such a request has been accepted by the Hotel. The baggage shall be handed over to the Guest at the front desk at the time of his/her check-in.

2. When the baggage or belongings of the Guest is found left after his/her check-out, and the ownership of the article is confirmed, the Hotel shall inform the owner of the article left and ask for further instructions. When no instruction is given to the Hotel by the owner or when the ownership is not confirmed, the Hotel shall keep the article for 7 days including the day it has been found, and after this period, the Hotel shall turn it over to the nearest police station.
3. The Hotel’s liability in regard to the custody of the Guest’s baggage and belongings in the case of the preceding two paragraphs shall be assumed in accordance with the provisions of Paragraph 1, and with the provisions of Paragraph 2 of the same Article in the case of Paragraph 2.

(Liability in Regard to Parking)

Article 17. The Hotel shall not be liable for the custody of the vehicle of the Guest when the Guest utilizes the parking lot within the premises of the Hotel, as it shall be regarded that the Hotel simply offers the space for parking, whether the key of the vehicle has been deposited to the Hotel or not. However, the Hotel shall compensate the Guest for the damage caused through intent or negligence on the part of the Hotel in regard to the management of the parking lot.

(Liability of the Guest)

Article 18. The Guest shall compensate the Hotel for damage caused through intent or negligence on part of the Guest.

(Disclaimer)

Article 19. The use of the communication services from within the Hotel shall be at the user’s own risk. The Hotel shall not be liable for any loss or damage incurred by the user due to unforeseen interruption of communication services, system failure, or any other reasons that results in communication loss. In the event that the Hotel or any third party suffers damage as a result of the use of the communication services, the user responsible shall be liable for compensation of damages.

(Language)

Article 20. These Terms and Conditions are written in both Japanese and English, but the Japanese text shall prevail in the event of any discrepancy or differences between the two.

Attached table of charges 1

Table of charges for lodging and miscellaneous expenses. [Regarding item 1 of article 2 and item 1 of article 12]

Total amount to be paid by a registered guest	
Accommodation	
(1) Basic accommodation charges (room charge or room charge + breakfast charge [when included in the basic room charge])	
(2) Service charge [(1) × 15%]	
Charges / Additional	
(3) Food and beverage charges (excluding meals included in the basic accommodation charges) and other relevant charges.	
(4) Service charge [(3) × 15%]	
Charges / Taxes	
Consumption tax	Accommodation tax

Notes:

In the event the relevant tax laws are modified, the latest modified version shall be applicable to all charges listed above.

Attached Table No.2

Customer Harassment (Article 5-8 and Article 7-6)

In the case of a request for a reduction in the room charge or other matters that are not easy to achieve (except in the case of requesting the removal of social barriers stipulated in Article 2.2 of the Act on the Promotion of Elimination of Discrimination on the Basis of Disability with regard to accommodation), or rude or abusive language or behavior, or a request made with coarse or abusive language or other language or behavior that is physically or mentally demanding to the employee (excluding when caused by the operator’s unfair discriminatory treatment under Article 8-1 of the Act on Promotion of Elimination of Discrimination on the Basis of Disability to the person seeking accommodation, or other reasonable grounds equivalent thereto),

or in the event of repeated conduct that would require more effort than would normally be required to treat the person making such a request (as defined below), such conduct shall be deemed an act of customer harassment.

- Acts that constitute physical aggression (assault, injury, etc.) or mental aggression (threats, abusive language, slander, etc.).
- Excessive demanding behavior, such as demanding to get down on one’s knees.
- Restrictive acts exceeding a certain time, such as sitting, confinement, etc. (including long phone calls).
- Shouting, abusive language, or other forms of berating employees.
- Unpaid cancellation fees without justifiable reason, demand for refund of payment, or excessive demand for exchange of goods or monetary compensation, etc. (This includes the act of making unreasonable demands, such as demanding excessive services beyond a reasonable range in comparison with other guests and repeated acts of requesting unreasonable discounts on accommodation charges.
- Actions to accuse an individual of responsibility, such as repetition of the same question, demand for apology or complaints in a manner that lacks social relevance.
- Excessive demands or claims for things that cannot be handled under operational rules or systems.
- Threats implying exposure on social networking sites or in the media (e.g., publication of employee names).
- Stalking of an employee.
- Other acts similar to those listed above.

Attached table No.3

Cancellation charge for hotels (ref. paragraph 2 of article 6)

Contracted number of guests	Group		
	Individuals	15 to 99	100 and more
Date when cancellation of contract is notified	1 to 14	15 to 99	100 and more
No show	100%	100%	100%
Accommodation day	80%	80%	100%
1 day prior to accommodation day	20%	20%	80%
9 days prior to accommodation day		10%	20%
20 days prior to accommodation day			10%

Remarks:

1. The percentage signifies the rate of cancellation charge to the basic accommodation charges.
2. When the number of days contracted is shortened, a cancellation for the first day shall be paid by the Guest regardless of the number of days shortened.
3. When part of a group booking (for 15 persons or more) is cancelled, the cancellation charge shall not be charged for the number of persons equivalent to 10% of the number of persons booked as of 10 days prior to the occupancy (when accepted less than 10 days prior to the occupancy, as of the date) with fractions counted as whole numbers.
4. When the Hotel and the Guest agree to another way about configuration of cancellation charge under the agreement of both parties, cancellation charge in article 6 is not to be adapted, cancellation charge that both agree is preferentially to be adapted.

ホテル利用規則

当ホテルではお客様に安全かつ快適に御滞在いただくため、宿泊約款第10条に基づき、次のとおり利用規則を定めておりますので、御協力くださいますようお願い申し上げます。この規則を遵守いただけない場合は宿泊約款第7条により宿泊又はホテル内諸施設の御利用をお断り申し上げ、かつ責任をおとりいただくこともございますので特に御留意くださいますようお願い申し上げます。

火災予防上お守りいただきたい事項

- 廊下及び客室内では暖房用、炊事用などの火器及びアイロン等を持ち込み御使用なさらないでください。
- ベッドの上での喫煙など火災の原因となるような行為をなさらないでください。
- その他火災の原因となるような行為をなさらないでください。

保安上お守りいただきたい事項

- 御滞在中お部屋から出られる時は施錠を御確認ください。
- 御在室中や特に御就寝の時はドアガードをお掛けください。来訪者があった時は不用意に開扉なさらず、御確認ください。万一不審者と思われる場合は直ちにフロント（ダイヤルA）へ御連絡ください。
- 御訪問客と客室内での御面会は御遠慮ください。

貴重品、お預り品のお取扱いについて

- 御滞在中の現金、貴重品はフロントにお預けくださいますようお願いいたします。上記手続きをおとりならず、現金、貴重品の滅失、紛失、毀損、盗難等によって生じた損害については賠償いたしかねる場合がございますので御承知ください。お預かり物の保管期間は、原則として下記のとおりお取扱いさせていただきます。
 - クロークルームのお預かりもの ……… 御滞在期間中
 - お忘れもの、遺失物 ……… 法令に基づく取り扱い

お支払いについて

- ホテル内のレストラン、バーなどを御署名で御利用になる場合は必ず客室の鍵又は宿泊カードを御提示ください。
- 都合により到着時にお預かり金を申し受けることがございますので御了承ください。
- ホテル内売店、アーケードでのお買物代、航空券、列車、観光バスなどの切符代、タクシー代、郵便切手代、お荷物送料などのお立替はお断りいたします。
- 小切手でのお支払いには応じかねますので御了承ください。お勘定は、3日毎にお支払いください。ただし、3日以内で、5万円を超えた場合、ホテルから請求があった場合はお支払いいただきます。
- 御宿泊日数を延長なさる場合は、それまでのお勘定をお支払いください。

おやめいただきたい行為

- ホテル内に他のお客様の迷惑になるようなものをお持ち込みにならないでください。
 - 犬（身体障害者補助犬及びこれに準ずる犬を除く。）、猫、小鳥、その他の動物ペット類全般
 - 発火又は引火しやすい火薬や揮発油類及び危険性のある製品
 - 悪臭を発するもの
 - 許可証のない鉄砲、刀剣類
 - 著しく多量な物品
 - その他法令で所持を禁じられているもの
- ホテル内で、とばくや風紀、治安を乱すような行為、高声、放歌、楽器演奏行為など、他のお客様に迷惑になったり嫌悪感を与えるような行為は、なさらないでください。
- 宿泊登録者以外の客室の御使用は堅くお断りいたします。
- 客室やロビーでの営業行為、また事務所など、宿泊以外の目的で御使用にならないでください。
- ホテル内で広告、宣伝物を配布、貼付したり、物品の販売等をなさらないでください。
- ホテル内の施設、備品を所定の場所、用途以外に、また現状を著しく変更して御利用にならないでください。
- ホテル内及び敷地内で、許可なく商業目的及び他のお客様に迷惑がかかるような写真撮影などはなさらないでください。
- ホテル内の外観を損なうようなものをバルコニーや窓にかけたり、窓側に陳列することはなさらないでください。
- 廊下やロビーなどに所持品を放置することはなさらないでください。
- ホテル外から飲食物などの御注文・お持込みはなさらないでください。
- ゆかた、スリッパで廊下、ロビー、レストラン、バーなど客室以外の諸施設にお出かけにならないでください。
- 緊急事態、あるいはやむを得ない事情が発生しない限り、非常階段、屋上、塔屋、機械室などお客様用以外の施設には立ち入らないでください。
- 未成年者のみの御宿泊は、特に保護者の許可がない限り、お断りいたします。
- 不可抗力以外の事由により、建造物、備品、その他ホテルの物品を損傷、汚染あるいは紛失させた場合、相当額を弁償していただく場合がございます。

2018.11.1 改定

Regulations

To ensure your safety and comfort, and in accordance with Article 10 of the Hotel law, we have established the following rules with which we hope you will cooperate. As is stipulated under Article 7 of the Hotel law, guests may be held responsible for the results of their actions or may be asked to leave if they break these rules.

Fire safety

- Appliances such as portable heaters or stoves are prohibited within the Hotel.
- Smoking in bed or any other place where there is a fire hazard is prohibited.
- Please avoid any action which might cause an accidental fire.

Room security

- When you leave your room, please check the door to see that it locked properly.
- When you are in your room, please make sure the door is locked and the doorguard is in place. Please be particularly careful of this before you go to sleep. Should a visitor knock on your door, please ascertain the identity of the person who is there before opening. If you are bothered in any way, or worried about someone who is at the door, please dial A for assistance.
- Please avoid bringing visitors to your room.

Valuables and Items deposited with the Hotel.

- During your stay, please leave money or valuables with the front desk. The Hotel will not hold responsibility for theft or loss of money or valuables not deposited with the front desk.
- Items left behind in the Hotel will be dealt with according to the law.

Payment of bills

- Please show your room key or identification card to hotel personnel when signing chits or bills for restaurants, bars, and other services in the Hotel.
- A deposit may be required at the time you check into the Hotel.
- The Hotel assumes absolutely no responsibility for such incidental expenses as shopping charges, tickets, taxi fares, or postage.
- The payment by check is not accepted. The payment should be made every three days of your stay. You may need to pay within three days when the amount exceeds 50,000 yen or the Hotel claims.
- If you decide to extend your stay, please pay all bills due.

Prohibited actions

- Please do not bring into the Hotel any items that may cause disturbance to other guests, including but not limited to:
 - Dogs (except those serving as assistance to the physically handicapped), cats, birds or other pets.
 - Gasoline, explosives, and other inflammables.
 - Offensive smelling items.
 - Illegally owned guns and swords.
 - Excessively bulky objects.
 - Any substance or article whose possession is prohibited by Japanese law.
- Gambling and similar offenses against public order are prohibited.
- The Guest are strongly requested to refrain from making noises or singing loud enough to disturb other guests.
- Regulations prohibit the use of rooms by any persons other than registered guests.
- The guestrooms and the lobby are not to be used as an office or for private parties or other activities without the consent of the Hotel.
- The distribution of advertising material or solicitous literature is prohibited within the Hotel.
- The rearrangement of hotel facilities and furnishings is prohibited without hotel permission.
- Taking photographs within the Hotel or its environs for commercial use is not permitted. In addition, guests are requested to refrain from taking photographs that may infringe upon the privacy of other guests or which may cause them anxiety.
- To maintain an attractive exterior appearance, guests are requested to refrain from displaying objects in windows and from hanging items from windows or balconies.
- Do not leave personal articles in the lobby or hallways.
- The Guest are requested to refrain from bringing food and beverages for immediate consumption into the Hotel from outside.
- Please do not wear Yukata (the Japanese-style bath robe) and slippers outside your rooms.
- Except in case of emergency or for unavoidable reasons, kindly do not use emergency exits or those marked “PRIVATE”.
- Minors are not permitted to stay at the Hotel without their guardian’s consent.
- The Hotel will require guests to pay compensation for damages, contamination or loss that they may inflict upon any part of the Hotel.